

1.平成27年度重点施策の活動状況

(1) 重点施策

- ① 活き生きネットワークの組織の有り様の検討
- ② 運営体制の見直し
- ③ 重症心身障害児対応の放課後等デイサービス・児童発達支援事業所の区分け
- ④ 就労支援事業の拡充
- ⑤ 会費の変更と会員数の増加の施策
- ⑥ 広報活動の充実
- ⑦ 研修事業の充実

(2) 活動報告

- ① 平成27年度は福祉分野の制度の変化を肌で感じた年となりました。
26年度より進めていた認定NPO法人申請への運びは27年度も継続して行いました。制度や社会情勢に捉われず、また活き生きネットワークのスタッフ一同が基本理念にそって団体としてより誇りをもって活動していくよう、認定NPOとして新たにスタート(28年度)する準備を行いました。27年度の様々な活動の要因を鑑み、28年度に向けて私たちの組織の有り様を再確認した年度でした。
- ② 運営体制の見直しとして、各部門の責任者を設け連絡調整会議として毎月開催しました。社会情勢の変化するなか、収益性や社会性を考慮し、新たな施策に各責任者の意見を反映させたいと思います。
- ③ くすくすの重症心身障がい児の放課後等デイサービスと児童発達支援の事業所の区分けをする為、ひと部屋増設しウッドデッキも造りました。また、2月には、重症心身障がい児の放課後等デイサービス、児童発達支援の施設を2ヶ所目を新設しました。放課後等デイサービスの知的障がい児の事業所は市内に増えていますが、医療的ケアのある児童を対象とする事業所は少なく、まだまだニーズがあると思います。
- ④ 今年度の「福祉職の魅力発見ツアー」は、個別相談を中心に開催しました。県下3地区で福祉・介護分野の魅力や仕事の現場について理解して頂く講座・施設見学を開催しました。今回は、延べ348名参加され、49.5%の方が就労されました。この事業は、今年度をもって終了となります。7年間で全180回開催し、延べ4,230名受講され37.3%の方々が就労され一定の成果が得られたと実感しています。これからもカタチを変えながら、シニア・障がい者・母子家庭など就職しにくい方々等の就労支援・相談活動を引き続き行ってまいります。
- ⑤ ドリーム会員、ワーカー会員の会費を大幅に引き下げさせて頂きました。そのことにより、会員増と寄付者の増が得られました。27年度はドリーム会員367名(前年278名)、また215名(前年67名)の方が寄附されました。
- ⑥ 活き生きネットワークの活動紹介ビデオを作成しました。またブログの充実を図り、各部署ごとにブログによる情報発信を行いました。現在、ホームページの改訂を行っています。
- ⑦ 研修事業の充実を図るため、研修会の開催、他機関の研修会への参加を促し、資格取得に力を入れ、職員のスキルアップを図りました。

